

原因・理由表現 共通調査項目

各項目で、参考となる先行調査票の項目を以下の略号を用いて提示する。

〈GAJ〇〇〇〉:『方言文法全国地図』本調査(〇〇〇は質問番号)

また、調査番号の前に付した「*」は、調査の優先度の低い項目であることを示す。

1. 「から」と「ので」の用法

1-1. 事態の原因(接続調査を兼ねる)

- 1-1-1. 毎日雨が降る {から/ので}, 洗濯物が乾かない。(動詞述語)
- 1-1-2. 毎日雨 {だから/なので}, 洗濯物が乾かない。(名詞述語)
- 1-1-3. 天気がいい {から/ので}, 洗濯物がよく乾く。(形容詞述語)
- 1-1-4. この部屋は静か {だから/なので}, 仕事に集中できる。(形容動詞述語)
- *1-1-5. 夕べ大雨が降った {から/ので}, 地面に水たまりができています。(動詞述語)
- *1-1-6. 子ども {だから/なので}, わからなかった。(名詞述語) 〈GAJ141〉

1-2. 行為の理由(後件のモダリティ制限の調査を兼ねる)

- 1-2-1. 体調が悪い {から/ので}, 仕事を休むことにした。(叙述)
- 1-2-2. 体調が悪い {から/ので}, 今日は仕事を休もう。(意志)
- 1-2-3. 夜道は暗い {から/ので}, 一緒に帰ろう。(勧誘)
- 1-2-4. 赤ん坊が寝ている {から/ので}, 静かにしろ。(命令)
- 1-2-5. 赤ん坊が寝ている {から/ので}, 静かにしてくれないか。(依頼)
- *1-2-6. 雨が降る {から/ので}, 傘を持って行け。(命令) 〈GAJ095〉

1-3. 判断の根拠

- 1-3-1 a. 星が出ている {から/ので}, 明日もいい天気になるだろう。
※1-3-1a で回答が得られないときは、次の例で確認をする。
- 1-3-1b. A 「明日もいい天気になるだろう。」
B 「どうしてわかるの？」
A 「星が出ている {から/ので}。」
- 1-3-2. 左手薬指に指輪をはめている {から/ので}, 結婚している。
- *1-3-3. 咳が出るし、熱っぽい {から/ので}, 風邪を引いたのかもしれない。

*1-3-4. さっき新聞配達の声がした {から／ので}, 5時を過ぎたのだろう。

1-4. 発言・態度の根拠

1-4-1. 危ない {から／ので}, この川では遊ぶな。

*1-4-2. 風邪をひくといけない {から／ので}, 厚着をして出かけなさい。

*1-4-3. 今日の仕事は全部終わった {から／ので}, もう帰ろう。

1-5. 理由を表さない用法

1-5-1. すぐにもどってくる {から／ので}, ここで待っていてくれ。

1-5-2. 一度でいい {から／ので}, ピラミッドに登ってみたい。

1-5-3. お願い {だから／なので}, お金を貸してください。

*1-5-4. 車を呼んであげる {から／ので}, すぐに病院へ行きなさい。

*1-5-5. 机の上においてある {から／ので}, 僕の財布取ってきてくれないか。

1-6. 原因・理由節の述語用法 (XはYからだ)

1-6-1. A 「気分が悪い。」

B 「あんなにたくさん飲むからだよ。」

1-6-2. A 「今日はデパートが込んでいるね。」

B 「日曜日だからだろうね。」

1-6-3. A 「最近, 太郎の機嫌が悪いんだ。」

B 「おまえが次郎のことばかりほめるからじゃないか？」

1-6-4. A 「最近, 太郎の機嫌が悪いんだ。」

B 「私が次郎のことばかりほめるからかなあ。」

*1-6-5. A 「最近, 太郎の機嫌が悪いんだ。」

B 「次郎ばかりほめられるからかもしれないね。」

*1-6-6. A 「引っ越しの後, パソコンの調子が悪いんだ。」

B 「それは, 運ぶときに落としたからにちがいないよ。」

1-7. 従属節内のモダリティ表現

1-7-1. 伝聞・推定表現など

1-7-1-1. (天気予報によれば) 今夜は雨が降るそう {だから／なので}, 早めに帰ろう。

1-7-1-2. (天気予報によれば) 今夜は雨が降るらしい {から／ので}, 早めに帰ろう。

1-7-1-3. (雲行きを見ていると) 今夜は雨が降りそう {だから／なので}, 早めに帰ろう。

1-7-1-4. どうも熱があるよう {だから／なので}, 早めに帰ることにした。

1-7-1-5. 雨が降るかもしれない {から／ので}, 傘を持ってきた。

1-7-2. 推量表現

1-7-2-1. 雨が降るだろうから, 傘を持っていけ。

1-7-2-2. 山ではかなり雪が降っただろうから, 雪崩が心配だ。

1-7-2-3. たいした雨にはならないだろうから, 傘は持っていかない。

1-7-2-4. 外は寒いだろうから, 厚着をして出かけよう。

1-7-2-5. この分だと明日も雨だろうから, 遠足は中止になるだろう。

1-7-3. 丁寧表現

1-7-3-1. ちょっと話がありますので, ここに来てください。

1-7-3-2. 危険ですので, かけこみ乗車はやめましょう。

*1-7-3-3. 国の両親が訪ねて来ますので, 今日は少し早めに帰らせていただいてもよろしいですか。

1-8. 文末用法

1-8-1. 倒置

1-8-1-1. ここでちょっと待っていて。すぐにもどって来るから。

*1-8-1-2. ちょっと, 5千円貸して。月末までに返すから。

*1-8-1-3. 駅まで迎えに来て。7時に着くから。

1-8-2. 終助詞的用法

1-8-2-1. あとで, もう一度電話するから。

1-8-2-2. ちょっと出かけてくるけど, おやつ, プリンが冷蔵庫に入っているからね。

1-8-2-3. 君のこと決して忘れないから。

1-8-2-4. (兄にいじめられた弟が兄に対して) お父さんに言いつけてやるからな。

*1-8-2-5. 5時まで駅前の喫茶店にいるから。

*1-8-2-6. ちょっと, スーパーまで買い物に行ってくるから。

*1-8-2-7. 秘密をばらしたら, ただではおかないからな。

2. 「のだから」の用法

◎形態的に「(準体助詞+) 指定辞+原因・理由の接続助詞」に相当すると考えられる形式について, 標準語の「から (ので)」, 「のだから」との用法の異同を確認する。

2-1. 「から (ので)」との相違

2-1-1a. 時間がないから {急いだ (事実の叙述) / 急ごう (意志) / 急げ (命令)}。

2-1-1b. 時間がないんだから {×急いだ (事実の叙述) / 急ごう (意志) / 急げ (命令)}。

2-1-2. 天気がいい {から / ×んだから} 散歩に出かけた。

*2-1-3. 毎日雨が降る {から / ×んだから} 洗濯物が乾かない。

*2-1-4. 夕べ大雨が降った {から / ×んだから} 地面に水たまりができています。

※当該方言の「から (ので)」類の形式が使用でき、「のだから」相当形式が使用できないことを確認。

2-2. 意味・用法 (接続調査を兼ねる)

2-2-1. 確かな事実とその当然の結論

2-2-1-1. こんなに頑張った {?から / んだから}, 今度はうまくいくはずだ。

2-2-1-2. 大事な話をしている {?から / んだから}, 子どもはあっちへ行ってなさい。

2-2-1-3. こっちは真剣 {×だから / なんだから}, からかわないでくれよ。

2-2-2. 聞き手に関する情報—行動要求・認識要求

2-2-2-1. 若い {×から / んだから}, 1度や2度の失敗でくよくよするな。

2-2-2-2. 受験生 {×だから / なんだから}, もっと真剣に勉強しなさい。

2-2-2-3. せっかく留学する {×から / んだから}, ちゃんと勉強して来いよ。

2-2-3. 後件が聞き手の利益になる事柄の場合

2-2-3-1. 時間はまだ十分あるんだから, ゆっくりしていってくれ。

*2-2-3-2. チャンスはまだあるんだから, 元気を出せよ。

*2-2-3-3. もうじき退院できるんだから, あと少しの辛抱じゃないか。

2-2-4. 倒置

2-2-4-1. 体に気をつけろよ。もう若くないんだから。

*2-2-4-2. 自分で決めろよ。もう子どもじゃないんだから。

*2-2-4-3. そりゃ心配するよ。親なんだから。

2-2-5. 終助詞的用法

2-2-5-1. 私, 絶対に彼と結婚するんだから。(決意)

*2-2-5-2. こっちが甘い顔を見ると, すぐ調子にのるんだから。

*2-2-5-3. あの男ときたら, まったく酒癖が悪いんだから (困ったやつだ)。

3. 接続詞「だから」の用法

3-1. 接続助詞「から」の文に言い換えられ、前件・後件が同一の話し手によるもの

- 3-1-1. 最近毎日雨が降る。だから洗濯物が乾かない。(事態の原因 c.f. 1-1-1)
*3-1-2. もう家を出る時間の30分前だ。だから早く起きなさい。(発言・態度の根拠)
*3-1-3. すぐにもどってくる。だからここで待っていてくれ。(理由を表さない用法 c.f. 1-5-1)

3-2. 接続助詞「から」の文に言い換えられ、前件・後件の間に話者交替があるもの

3-2-1. 相手の発話中の事態Pを受け、それから導かれる帰結Qを述べるもの

- 3-2-1-1. A:「最近毎日雨が降るね。」
B:「うん。だから洗濯ものが乾かなくて困るよ。」
*3-2-1-2. A:「今日は雨が降るそうだね。」
B:「だから傘を持っていきなさい。」

3-2-2. 聞き手に結論を求めるもの

- 3-2-2-1. A:「大変だ。雨が降ってきた。」
B: (雨が降るぐらいでどうして大変なのか理解できず)
「だからどうしたと言うの?/だから何なの?/だから?」

3-2-3. 相手の発話中の事態や発話時の状況Pが、既知の事態Qの原因・理由であると認定するもの

- 3-2-3-1. A:「事故で電車が遅れているようだよ。」
B:「そうか。だから、みんなまだ来ないんだ。」
3-2-3-2. (外出先で混雑しているのにうんざりして)
「(これ) だから連休に出かけるのは嫌なんだ。」
3-2-3-3. (テレビで行楽地が混雑しているのを見て)
「(あれ) だから連休に出かけるのは嫌なんだ。」

※「ソレダカラ」「ソヤサカイ」など前部に指示詞を含む接続詞を持つ方言では、3-2-3-2や3-2-3-3で、コ系・ア系の指示詞に切り替わるかどうかを確認。

3-2-4. 相手の発話中の事態や発話時の状況Pが、既に行った発話行為Qの理由であると認定するもの。

- 3-2-4-1. (「やめておけ」と注意したのに、それを守らないで間違いをおこしたので)
「だから、やめておけと {言ったのだ/言っただろう/言ったじゃないか}。」

- *3-2-4-2. (孫に、注意したのに間違いをおこしたので)
「だから、するなと言ったじゃないか」(GAJ096)

3-3. 接続助詞「から」の文に言い換えられず、「あなたもわかっているはずなのに」という話し手の態度を表すもの

3-3-1. 「あなたが…と言うから私は～と言う」という発話行為間の因果関係があるもの

- 3-3-1-1. A:「さっき頼んだ仕事、ちゃんとやってね。」
B:「うん、今日中にやるよ。今ちょっと忙しくてできないんだ。」
A:「明日までにやってよ。」
B:「だから、今日中にやる {と言っているじゃないか/よ}。」

- *3-3-1-2. A:「今日はお願いがあって来たんだ。」
B:「何? 話してみなさい。」
A:「とても大事なことなんだ。」(と言ってなかなか話そうとしない)
B:「だから、話してみなさい (と言っているじゃないか)。」

※「と言っているじゃないか」などの引用表現をとる場合と、とらない場合と、両方確認してみる。

3-3-2. 発話行為間の因果関係がないもの

- 3-3-2-1. A:「さっき頼んだ仕事、やってくれた?」
B:「え? 何のこと?」
A:「だから、午前中に頼んだあの仕事だよ。」
- *3-3-2-2. A:「今日、ちょうど田中さんに会ったよ。」
B:「どの田中さん?」
A:「だから、昨日話していた3丁目の田中さん。」

(大西拓一郎編 2006『方言文法調査ガイドブック2』所収「原因・理由表現 B項目」の再掲)